

2022年4月26日
株式会社東陽テクニカ

仮想基盤・VDI の管理／監視／ボトルネック可視化ツール「Uila」 最新バージョン ver.4.5 を発売 ～ 新たに Nutanix AHV などをサポート ～

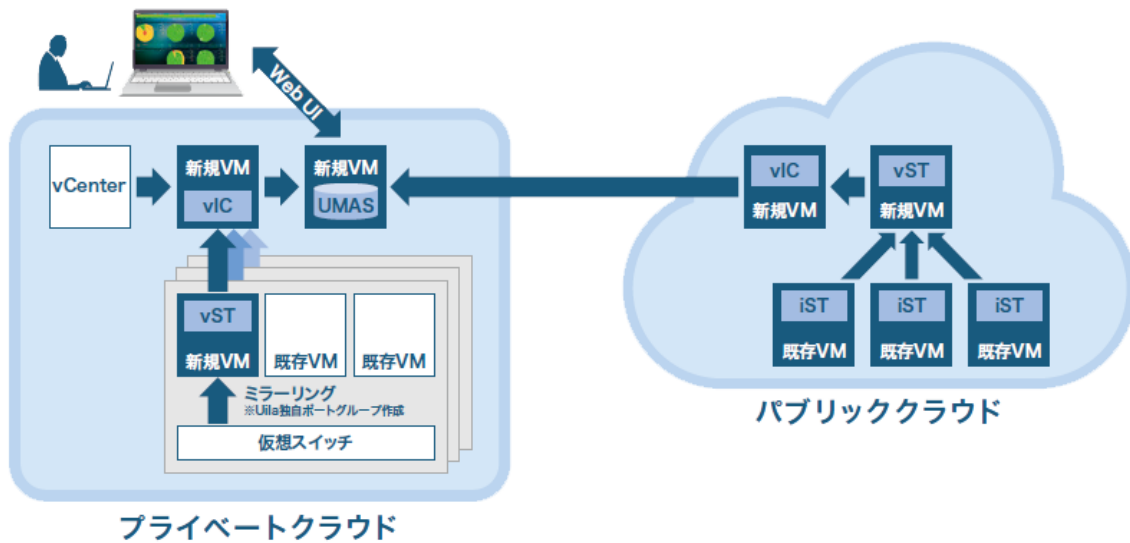
株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役社長：高野 俊也、以下 東陽テクニカ)は、仮想環境下の問題切り分けや、ボトルネックの可視化を行うための解析ソリューションソフトウェア「Uila」の最新バージョン ver.4.5 を 2022 年 4 月 26 日に販売開始いたします。「Uila」ver.4.5 は、Acropolis ハイパーバイザー(以下 AHV)が動作している Nutanix HCI について、Prism Central および Prism Element 環境のいずれもサポートすることにより、VMware、Microsoft、Nutanix または任意のパブリッククラウドベンダーのうち複数のアーキテクチャをサポートする環境全体への監視、関連トラブルシュートが可能になります。加えて、インテリジェントレメディエーション機能により IT オペレーションが自動化され、企業内で運用監視／管理を担う IT 組織は、必要な業務遂行に集中することができ、作業効率を向上させることが可能になります。



【概要】

仮想基盤／VDI(仮想デスクトップ基盤)の可視化、分析、最適化に特化した解析ソフトウェアツール「Uila」は、オンプレミス仮想化環境(VMware vSphere/Microsoft Hyper-V/Nutanix AHV 環境はエージェントレス導入)とパブリッククラウド(AWS/Azure/GCP など)における VM(仮想マシン)の構成と VM 同士の通信連携、システム上のボトルネックを可視化できます。通信レスポンスの問題に対してアプリケーションと基盤のどちらに原因があるのかについての切り分けや、データセンター、クラウド環境への移行前後にシステム環境を変更した場合などの調査にも有効です。

東陽テクニカでは、この「Uila」の取り扱いを 2017 年から始め、国内で数多くの企業に導入し企業内の情報システム機能の効率化を支援しています。最新バージョン「Uila」ver.4.5 は、日本国内でも HCI(Hyper-Converged Infrastructure)のパイオニアとして多くの導入実績がある Nutanix の仮想化／VDI 基盤 AHV に対応しました。



「Uila」構成図

【「Uila」ver.4.5 の新機能】

・Nutanix AHV のサポート

AHV が動作している Nutanix HCI の下記環境のいずれもサポートしました。

- Prism Central pc.2021.8
- Prism Element AOS 5.20X and AHV 20201105.2096

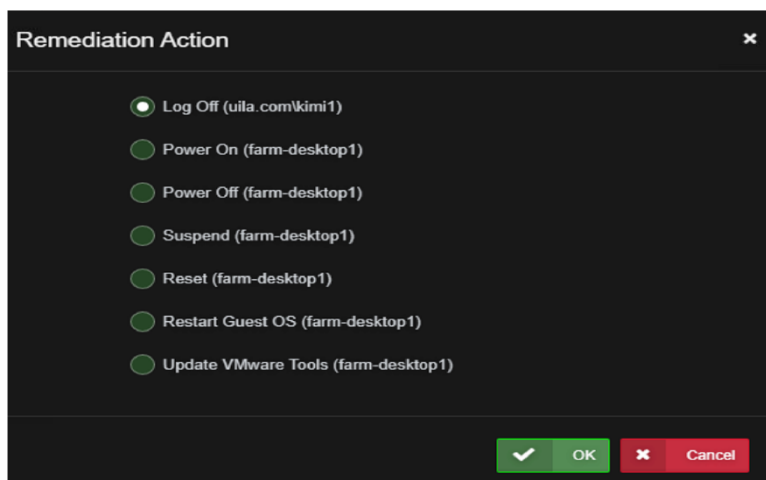
*「Uila」 ver.4.5 では Nutanix 向けセキュリティモジュール(Cyber Threat Module)とアプリケーショントランザクション解析機能の利用はできません。

・インテリジェントレメディエーション機能による IT オペレーションの自動化

問題を未然に防ぐと同時に問題解決を効率的に行うための完全なコントロールを提供する、インテリジェントアラートトリガーとマニュアルトリガーをサポートしました。

*利用可能なアクションには、VM の電源オフ・オン、サスペンド、VDI ユーザーログオフ、VMware tools のアップデート、ゲスト OS の再起動、VDI デスクトップ上で動作しているプロセスをキルすることなどが含まれます。

また、ユーザーログオン時間、デスクトッププロトコルのラウンドトリップタイムおよびパケットロスを含む環境に悪影響を及ぼす VDI の問題についてアラートを受け取れるようになりました。



Stat Type	Critical Threshold	Major Threshold	Minor Threshold	Actions
Logon Time	1 s	0.5 s	0.1 s	
PCoIP Protocol Round-Trip Latency	3 ms	2 ms	1 ms	
PCoIP Rx Packet Loss	3 %	2 %	1 %	
PCoIP Tx Packet Loss	3 %	2 %	1 %	
Blast Round-Trip Time	3 ms	2 ms	1 ms	
Blast Packet Loss Uplink	3 %	2 %	1 %	

画面イメージ：(上)自動終了設定画面、(下)アラート設定画面

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、1953年の創立以来、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新に貢献してまいりました。その事業分野は、情報通信、自動車、エネルギー、EMC(電磁環境両立性)、海洋、ソフトウェア開発、ライフサイエンス、セキュリティなど多岐にわたります。5G通信の普及、クリーンエネルギーや自動運転車の開発などトレンド分野への最新の技術提供に加え、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力し、国内外で事業を拡大しています。最新ソリューションの提供を通して、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 経営企画部マーケティング課

TEL：03-3279-0771(代表)

Email：marketing_pr@toyo.co.jp

「Uila」製品ページ：<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/uila.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。